

第16回革新的研究開発推進会議 議事概要

- 日 時 平成27年11月19日（木）10：00～10：13
- 場 所 中央合同庁舎8号館 6階623会議室
- 出席者 久間議員、原山議員、小谷議員、橋本議員、平野議員、大西議員
- 事務局 石原内閣府審議官、森本統括官、中西審議官、中川審議官、松本審議官
真先参事官、福嶋参事官
渡辺文部科学省研究開発基盤課長

○ 議事概要

午前10時00分 開会

- 久間議員 おはようございます。ただいまから第16回革新的研究開発推進会議を開催させていただきます。

本日は、島尻大臣、松本副大臣、酒井政務官、内山田議員、中西議員が御欠席となっております。

本日の議題は、「研究開発機関への研究開発資金の配分変更の承認について」及び「革新的新技術研究開発業務に関する国会報告について」です。

本日の進め方について御説明します。議題1の「研究開発資金の配分変更の承認について」は、公開で、事務局より説明してもらいます。議題2の「革新的新技術研究開発業務に関する国会報告について」は、非公開で、文部科学省から報告してもらいます。

よろしいでしょうか。（異議なし）

ありがとうございます。

まず議題1ですが、研究開発プログラムの進捗に応じて、研究開発機関に対する研究開発資金の配分額の見直しが生じております。そのうち、PMに関係する機関が含まれるため、革新的研究開発推進プログラム運用基本方針取扱要領に基づいて、研究開発資金の配分変更の承認についてお諮りいたします。

事務局より、研究開発資金の配分変更について説明してもらいます。お願いします。

- 福嶋参事官 I m P A C T担当の参事官の福嶋でございます。御説明申し上げます。資料1を御覧ください。

I m P A C Tでは、研究開発機関の選定及び研究資金の配分につきましては、一義的にはプログラム・マネージャー（PM）の権限で行えることになっておりますが、PMと関係のある機関を選定あるいは研究開発資金の配分を変更する場合には、推進会議による承認が必要となっております。

今回、表にございますように、藤田PMと山本PMがPMの関係機関に対する資金配分の見直しを計画しており、お諮りするものでございます。藤田PMについては出向元である東芝が、山本PMは以前F I R S Tで共同研究を行った理研が、今回PMの関係機関となります。

中ほどの藤田PMにつきましては、放射性廃棄物の分離技術に関するプロジェクトに参画されている研究機関に配付する研究用サンプルの作製を実績あります東芝に一括して行ってもらうために、3,800万円の追加配分を計画しているものでございます。

また、下側の山本PMにつきましては、量子シミュレーションに関する研究開発プロジェクトに参画されている理研の研究者に対する配分の見直しを計画しているものでございまして、2ページ目の表を御覧いただきたいのですが、研究内容に応じて理研のそれぞれ担当されている研究責任者に対して資金を配分することとなっておりますけれども、真ん中、2人目の樽茶さんに、研究内容の充実を図る観点から1,000万円の増額を計画しており、また一番上の中村さんにつきましては、もともと中村さんと一緒に研究されていた3番目、一番下の蔡さんを独立した研究責任者として8,500万円を配分することとしたこと、また樽茶さんへの1,000万円の追加配分を踏まえまして、中村さんの研究内容を精査し、9,500万円の減額を計画しているものでございまして、総額には変更はございません。いずれも特段の問題はないものと考えております。

説明は以上でございます。

○久間議員 ありがとうございます。

それでは、PM関係機関を含む研究開発資金の配分変更について、御意見等ありましたら、御発言ください。

大西議員、どうぞ。

○大西議員 後のほうは、わかりやすいというか、9,500万円分を変更するということ、移し変えるということだと思えますけれども、前のほうは、追加、純増ということになるんですかね。純増の場合、純増分の確認というのはどういう手続きでやるのか、ちょっと説

明してもらえますか。

○久間議員 お願いします。

○福嶋参事官 推進会議におきまして、個別の研究開発機関に対する資金の増加、減額、いずれの場合も御承認いただくのですけれども、今回、増額ということでありましてけれども、全体の額自体は、藤田PMにおかれては34億円が総額になっておりますが、全体の総額の中での配分の見直しということで、東芝に対してその配分を全体の中で見直して3,800万円の増額を今回計画しているものでございますが、もともと、今回取り組もうとされている分離技術の開発につきましては、参加機関を公募して資金を配付するというので、一定の額を割り当てておりますので、その中での配分の調整ということで、全体の額には変更はございません。

○大西議員 念のため、後のほうは、ちょうどプラスマイナスがゼロになっていますよね。だから、どこを減らしてどこを増やすとかという調整のプロセスが見えるけれども、前のほうはプラスだけなので、今おっしゃる、全体は変わらないというのはちょっとわかりにくいと言えわかりにくいと思います。

○久間議員 全体として見れば、どこか減っているわけですね。

○福嶋参事官 全体のプログラムの中で、このプロジェクト1の総額自体は変更はございません。その中の配分の見直しということではありますので、ちょっとそこが今後はわかるようにしたいと思います。

○原山議員 ここで議論すべき点というのは、減額とか増額の話ではなくて、今この変更をする相手というのがPMの関係機関であるので、利益相反の視点から問題がないか、あるかということを確認する。なので、その後の配分の仕方というのは、これは基本的にはPMが自由度を持っているプログラムなんですけれども、ほかの場合には、ここにかけて再配分を行っているのだけれども、この場合にのみここに上げているというのが……。

○大西議員 今の説明だと、全体の予算を増やすとか減らすとかという場合には承認が要ると。これはプラスしか出ていないので、全体が増えるのではないかという疑問もあるので、お伺いしたわけです。

○久間議員 全体の総額は変わらないのですね。

○福嶋参事官 そうです。

○大西議員 だからその場合には、減らすところがあるのだったら、それも後のように示して

くれれば、私のような質問は出る必要がないと思います。

○久間議員 おっしゃるとおりです。

○福嶋参事官 以後、気をつけます。

○久間議員 ということでよろしいでしょうか。（異議なし）

どうもありがとうございました。

それでは、ただいまの議論を踏まえまして、研究開発資金の配分変更について承認することといたします。

ここからは非公開で進めさせていただきたいと思います。

記者の方及び関係者以外の方の御退出をお願いします。

（プレス退室）

議題２．革新的新技術研究開発業務に関する国会報告について【非公開】

午前１０時１３分 閉会